

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

5月中旬、松本信用金庫に公的年金を振り込むお客様で構成する信寿会の企画した「絶景富士山と駿河湾が奏でる清水みなとクルーズ・焼津で味わう海鮮料理」の旅に参加する。各班210名で7班総計約1500名参加の旅だ。会員以外の参加者は2万円の旅行費用だが、会員だと1万2000円で参加できると早々に募集人員に達する企画だ。

今回訪れたのは神戸港、長崎港と並んで日本三大美港に数えられる清水港。天候には恵まれなかったが「富士山清水みなとクルーズ」に乗船して約35分の船旅で乗客定員2081名の客船クイーンエリザベス号を海上から間近で観る場面に恵まれ船体のポリウム製の凄さに圧倒される。

一度は豪華客船の旅にと思った人は多かったに違いない。船上から富士山世界文化遺産構成資産登録をした三保松原を眺めて謡曲「羽衣」の天女が漁夫から羽衣を返してもらい霊峰富士山を見

積極的に旅する意欲を持ち続けよう

おろし昇天する往きごまを想像してしまう。また日本三大パワースポットに挙げられる長野県のゼロ磁場がある分杭峠、石川県の聖域の岬と呼ばれる珠洲の岬、神が住む山とされる富士山。雄大な富士山は望めなかったが、

改めて海上から富士山を眺めたいと思わせられた。河口湖駅前コンビニエンス・ローソンの青い看板の上に富士山が載っていると話題になり外国からのお客様の混乱ぶりになるほど富

士山の魅力は世界共通だと微笑んでしまうが、外国人のセンスには全く理解ができないと思うのは私だけなのだろうか。外国人には大北地域のどんな魅力が評価されるのだろうか。地域にある魅力や、世界にどんな手段

で情報発信するか興味がある。楽しみの買い物は「焼津さかなセンター」に。約60店舗では鮮魚や水産加工品だけではなく静岡のいろいろなお土産も。活況ある雰囲気に参加者も大満足

手に入れている老人ではないか」と述べている。孤独死が社会問題化する中でも「孤独な人生を歩むのではなく友を求め、生き甲斐を



クルーズ船には歓迎の看板、地域振興に取り組む金融機関の姿勢を改めて感じてしまう

持ち続けながら生きて行こう」と思わせてくれた旅に感謝だ。(信州地域社会フォーラム会員 白馬村森上)